



## 第22期 中間報告書

平成18年4月1日から  
平成18年9月30日まで

**trans**  
**cosmos**  
people & technology

**The Marketing Chain Management Company**

トランスコスモス株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第22期中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の営業状況をとりまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

当中間期における当社の営業活動といたしましては、マーケティングチェーンマネジメントサービス事業(Webサイト構築から効果的なインターネット広告まで提供するデジタルマーケティングサービス、消費者の生の声をサービスに活かすコールセンター／コンタクトセンターサービス、アジア市場を中心としたグローバルマーケティングチェーンマネジメントサービス)、を中心として中国オフショア開発サービス事業なども好調に推移し、お客様企業へ付加価値の高いサービスをご提供した結果、売上高を拡大いたしました。

今後とも株主の皆様のご期待に応えられるよう、より一層の業績向上に取り組んでまいり所存ですので、何卒ご支援賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成18年12月

トランスコスモス株式会社

代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

当中間期のわが国経済は、原油価格高騰による懸念要因などはあったものの、円安に伴う輸出産業の収益拡大や、企業の設備投資の拡大及び雇用情勢のさらなる改善が続いた結果、前期に引き続き民間主導の成長が続きました。一方、企業は、従来から実施しているコア業務以外のアウトソーシング活用のほかに、業務の企画／計画／運用／管理までも含む広範囲なアウトソーシングサービスを積極的に活用する傾向にあります。これは、ITの進化により業務を行う場所や時間の制約がなくなったこと、業務が分業化しやすくなったこと、そして企業自身だけの力では急速に進化するITを駆使した業務改革が困難になってきたことが挙げられます。このような環境は、当社にとって受注獲得の好機と捉えられる一方、企業の「コスト削減」「業務改善」などに対するニーズに応えるための、さらなる競争力の強化が

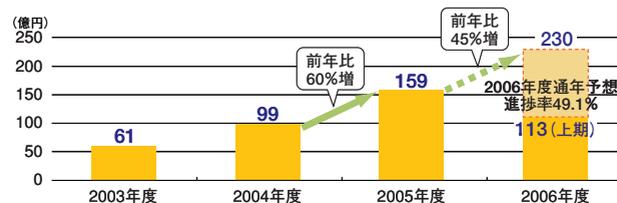
求められています。また、ブロードバンド環境がより一層普及し、インターネットがビジネスにとって不可欠なインフラとなった今、企業と消費者の関係が直接的かつ豊かなものとなり、コミュニケーションチャンネルとしてのインターネット活用が、企業にとって非常に重要な課題となっております。

当社グループの情報サービス事業は、お客様企業のWebサイト制作からインターネット広告などのプロモーション活動までを包括的に支援する『デジタルマーケティングサービス』、消費者からの情報を最大限に活用／運用する“マルチチャンネル対応型（電話／Eメール／Web）”『コールセンター／コンタクトセンターサービス』、そして、企業が求めるシステムを企画段階から上流設計、開発、保守まで、高品質・低価格で提供する『中国オフショア開発サービス』などのサービスメニューをご提供し、お客

様企業の売上増大とコスト削減、マーケティングの効率化及び顧客満足度の向上に貢献しております。

こうした中、お客様企業のニーズに応じた最適なインターネット広告サービスの提供や、売上拡大や消費者との豊かなコミュニケーションを実現するWebサイトの制作、顧客データベースを活用したWebプロモーションなどを提供する『デジタルマーケティングサービス』が引き続き順調に拡大し、前年同期比63.1%増収の11,387百万円となりました。今後は、RSS広告、ブログや動画共有サイト広告に代表される次世代アドソリューションサービスの開発/提供をさらに強化し、業界トップレベルのイン

### 好調なデジタルマーケティングサービスの売上(連結)



ターネット広告会社として事業の強化を図ってまいります。『コールセンター/コンタクトセンターサービス』においても金融/通信業界を中心に新規受注の獲得や既存業務の拡大を実現したことに加え、連結子会社の増加もあって売上高は増加し、『マーケティングチェーンマネジメントサービス』全体として順調に売上高を伸ばしております。

また、『中国オフショア開発サービス』の受注拡

## TOPICS

2006年11月7~8日、米国ラスベガスで行われたThe 2006 Contact Center World Awards 世界大会において、独自に開発したアウトバウンドメソロジーである MO<sup>®</sup>をベースとした販促キャンペーンの事例に関する発表を行い、Best Outbound Campaign 部門で最優秀賞を受賞いたしました。

大に伴い、連結子会社である大宇宙情報創造（中国）有限公司において、平成18年7月に第2ビルを竣工し、さらなる事業拡大を行ってまいります。

一方、BtoC事業分野については、中期的に当社グループの主力事業のひとつとして成長させるため注力しており、Ask.jpを中心とした子会社群での先行投資によって同分野の営業損失は、947百万円になりましたが、当初の計画より赤字額は縮小しました。

また、お客様企業に提供するサービスの付加価値を高めるため、常に国内外における最新の技術動向を把握し、当社のサービスメニューとして取り込む活動を行う『コーポレートベンチャーキャピタル事業』は、前年同期と比較して保有株式の売却が少なかったことから売上高、営業利益ともに減少しておりますが、期初の計画は上回ることができました。

以上のような状況のもと、5月に発表した中期事業計画の初年度の上半期の実績としては売上高、利

益ともに期初の計画を上回る形でスタートできております。当中間期の連結売上高は64,761百万円と前年同期に比し、11,919百万円、22.6%の増収となりました。連結営業利益は2,820百万円（前年同期比△52.5%、3,117百万円減少）、連結経常利益は2,593百万円（同△51.7%、2,777百万円減少）、となりました。連結中間純利益は6,521百万円（同180.6%、4,197百万円増加）と大幅な増益となりました。これは主に、関係会社株式売却益を9,688百万円特別利益に計上したことによるものであります。

今後も、当社経営の基本理念である『お客様の満足が大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。』を全社一丸となって実践し、当社グループの成長によって株主価値を高めるとともに、社会の発展に貢献する所存でございます。何卒今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

# マーケットへのアプローチ もうかるリスティング広告といえばトランスコスモス

リスティング広告運用をトランスコスモスに乗り換えた結果  
CPAが50%に削減  
様々なソリューションと手厚いサポートで、ROIを最大化します。

トランスコスモスのリスティング広告の特長は、入札の管理・運用や効果測定を可能にする「Bidology」をはじめとする様々なソリューションを提供すると同時に、この賢明ツールとアナリストによる分析を多層階級の運営体制で行うことにより、お客様の業種やリスティング広告の目的に合わせたサービスを提供します。

一例ですが、大手インターネット小売会社から、トランスコスモスに乗り換えたある企業では、CPA(Cost Per Acquisition)顧客獲得単価が、50%削減されました。トランスコスモスのリスティング広告サービスは、セグメント別広告や数量限定クリックを無効化、競合サイトの成約率を定期的に向上させるサービスがあります。

リスティング広告の目的は、—にもよりますが、企業利益、効果がないなら、やめれば大丈夫。

もうかるリスティング広告といえば、トランスコスモス。

今、企業サイトへのアクセスの約82%が、**Yahoo! JAPANやGoogleなどの検索エンジンを経由しているのをご存知ですか。**

トランスコスモス提供

よいIT革命を。  
trans cosmos  
trans-cosmos.co.jp

お問い合わせ ☎0120-120-364

企業のトップページから  
希望するページに訪れてくれる人は、  
実は20%もないのをご存知ですか。

トランスコスモス提供

約2万通りのテストで誘導先のページを最適化する  
トランスコスモスの「Optimost」なら、  
せっかくサイトに訪れてくれた顧客を逃しません。

Optimostリスティング広告最適化分析サービスは、お正月一ヶ月間で約10万回ものユーザーアクセスを行い、広告掲載のホームページ分析、最適化する最適なテキスト、ヘッダー、ボタン、フォーム、ページのブロックの組み合わせを大量に自動生成し、テストを通じて最も効果的なアクションにつながるページバージョン（勝ちバージョン）を発見し、手動で正しい訪問者の行動や経験に基づいたアプローチを実現する「ユーザー導く」サービスで、これまで以上の高品質な訪問者からのコンバージョン（申し込みや購入）が実現可能という課題を解決していくことが可能です。

リスティング広告の目的は、—にもよりますが、企業利益、効果がないなら、やめれば大丈夫。

もうかるリスティング広告といえば、トランスコスモス。

よいIT革命を。  
trans cosmos  
trans-cosmos.co.jp

お問い合わせ ☎0120-120-364

オペレーション業務のプロとして  
約40年の歴史を持つトランスコスモスなら、  
顧客のホームページサポートまで得意です。

トランスコスモスのお客さまのサポートは、電話対応と並ぶオペレーション業務、約40年の歴史と長年の実業における豊富な実績を持つ「コンタクトセンター」としての専門性、『もうかるリスティング広告』を構築する私たちのノウハウなどです。しっかりと人と顧客との間に「合わせる」だけではありません。当然、売上は大きくなります。またアフターサービスや顧客の声の収集・分析など、『お客様の課題に合わせた』問題解決も、おまかせできるサービスの一つです。私たちにできること、私たちが得意なこと、は多いと思います。

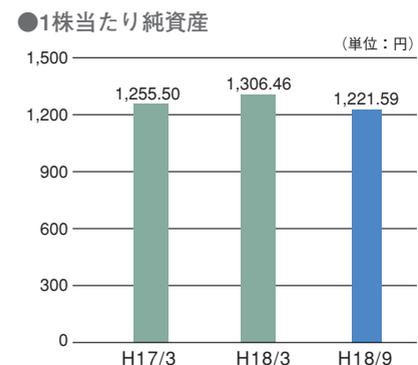
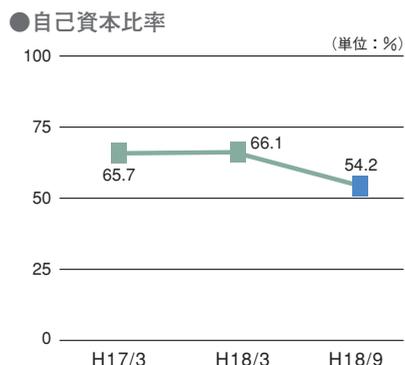
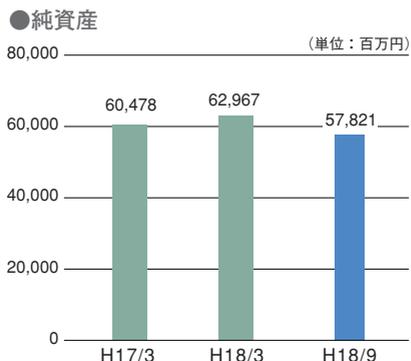
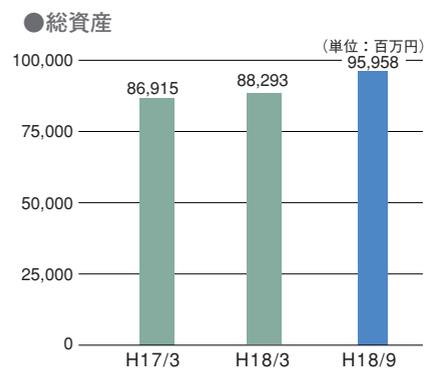
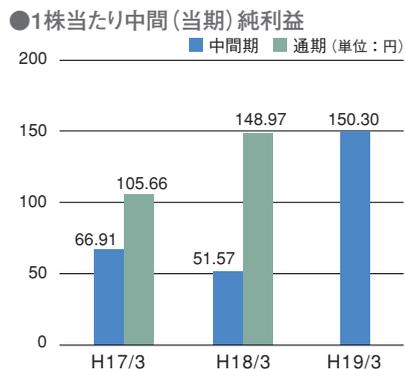
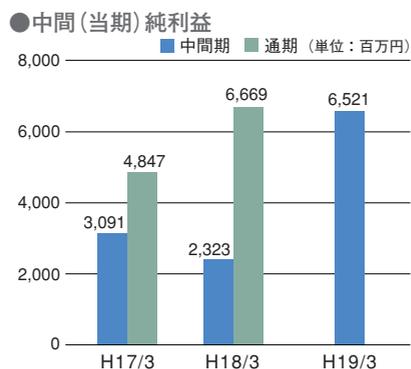
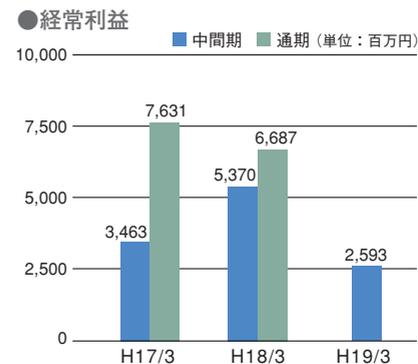
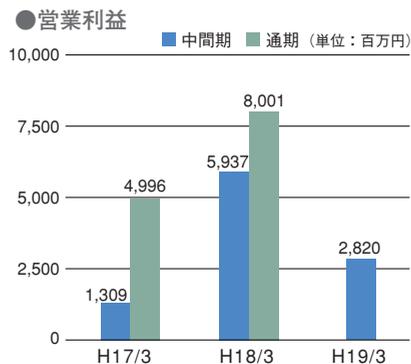
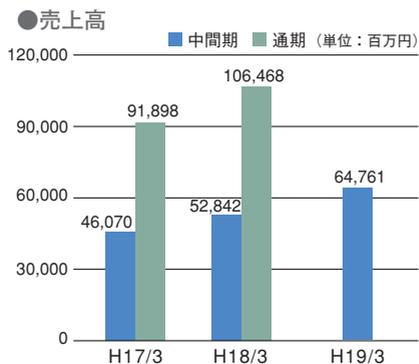
リスティング広告の目的は、—にもよりますが、企業利益、効果がないなら、やめれば大丈夫。

もうかるリスティング広告といえば、トランスコスモス。

WEBで商品を購入した人の約26%が、  
電話もしくはメールで問い合わせを  
しているのをご存知ですか。

よいIT革命を。  
trans cosmos  
trans-cosmos.co.jp

お問い合わせ ☎0120-120-364



(注) 平成18年4月1日付けで株式分割 (1:2) を行っており、「1株当たり中間(当期)純利益」と「1株当たり純資産」につきましては、H17/3、H18/3それぞれ期首に株式分割が行われたと仮定して算出してあります。

●中間連結貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	期 別	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
流 動 資 産		60,445,185	57,882,775
現金及び預金		26,195,630	21,802,649
受取手形及び売掛金		18,717,039	16,927,704
営業投資有価証券		11,625,032	15,955,658
有価証券		255,265	325,264
たな卸資産		675,584	623,521
繰延税金資産		506,384	55,645
その他		2,760,494	2,468,915
貸倒引当金		△ 290,247	△ 276,582
固 定 資 産		35,512,990	30,410,614
有形固定資産		10,477,262	8,398,228
建物及び構築物		4,909,060	3,785,950
工具器具備品		4,134,603	3,277,625
土地		1,397,662	1,134,673
その他		35,935	199,978
無形固定資産		5,251,352	2,355,373
のれん		1,463,081	216,720
その他		3,788,270	2,138,653
投資その他の資産		19,784,375	19,657,012
投資有価証券		1,388,881	5,243,217
関係会社株式		6,261,431	6,440,147
その他の関係会社有価証券		427,256	—
出資金		27,473	23,800
関係会社出資金		93,831	44,835
繰延税金資産		3,211,079	2,821,936
差入保証金		4,534,552	2,978,337
前払年金費用		593,067	444,413
その他		3,583,692	2,015,967
貸倒引当金		△ 336,892	△ 355,642
資 産 合 計		95,958,175	88,293,389

負債、少数株主持分、資本及び純資産の部			
科 目	期 別	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
流 動 負 債		24,753,968	18,963,343
買掛金		3,493,950	3,984,688
短期借入金		2,121,103	14,570
一年内返済予定長期借入金		2,020,663	2,000,000
未払金		3,957,928	4,088,178
未払法人税等		4,060,913	292,931
未払消費税等		1,166,965	828,194
繰延税金負債		—	553,105
賞与引当金		2,768,056	2,473,711
その他		5,164,388	4,727,964
固 定 負 債		13,382,239	6,362,075
社債		5,457,000	5,171,000
長期借入金		7,306,985	29,167
繰延税金負債		221,697	965,212
退職給付引当金		344,316	132,542
その他		52,239	64,153
負 債 合 計		38,136,207	25,325,419
少 数 株 主 持 分		—	4,602,253
資 本 金		—	29,065,968
資本剰余金		—	23,217,772
利益剰余金		—	2,768,157
その他有価証券評価差額金		—	8,632,917
為替換算調整勘定		—	4,971,630
自己株式		—	△10,290,728
資 本 合 計		—	58,365,717
負債、少数株主持分及び資本合計		—	88,293,389
株 主 資 本		44,000,795	—
資 本 金		29,065,968	—
資本剰余金		23,136,589	—
利益剰余金		7,722,859	—
自己株式		△15,924,621	—
評価・換算差額等		8,031,649	—
その他有価証券評価差額金		3,124,302	—
為替換算調整勘定		4,907,347	—
少 数 株 主 持 分		5,789,522	—
純 資 産 合 計		57,821,967	—
負 債 純 資 産 合 計		95,958,175	—

## ● 中間連結損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	64,761,850	52,842,440	106,468,073
売上原価	49,291,335	37,857,521	78,207,355
売上総利益	15,470,515	14,984,919	28,260,718
販売費及び 一般管理費	12,650,479	9,047,189	20,259,044
営業利益	2,820,036	5,937,730	8,001,673
営業外収益	232,055	197,925	332,109
営業外費用	459,043	764,932	1,646,758
経常利益	2,593,048	5,370,723	6,687,024
特別利益	11,425,910	894,088	5,830,185
特別損失	2,612,461	1,083,508	2,012,690
税金等調整前 中間(当期)純利益	11,406,497	5,181,303	10,504,519
法人税、住民税 及び事業税	3,842,505	45,261	108,318
法人税等調整額	1,056,947	2,773,035	3,585,033
少数株主利益	—	39,121	141,381
少数株主損失	14,185	—	—
中間(当期)純利益	6,521,229	2,323,886	6,669,784

## ● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	295,095	3,744,308	6,321,108
投資活動による キャッシュ・フロー	3,528,661	△2,690,234	△3,439,296
財務活動による キャッシュ・フロー	1,225,911	△4,505,074	△11,887,097
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	26,234,436	26,114,851	21,202,723

## ● 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

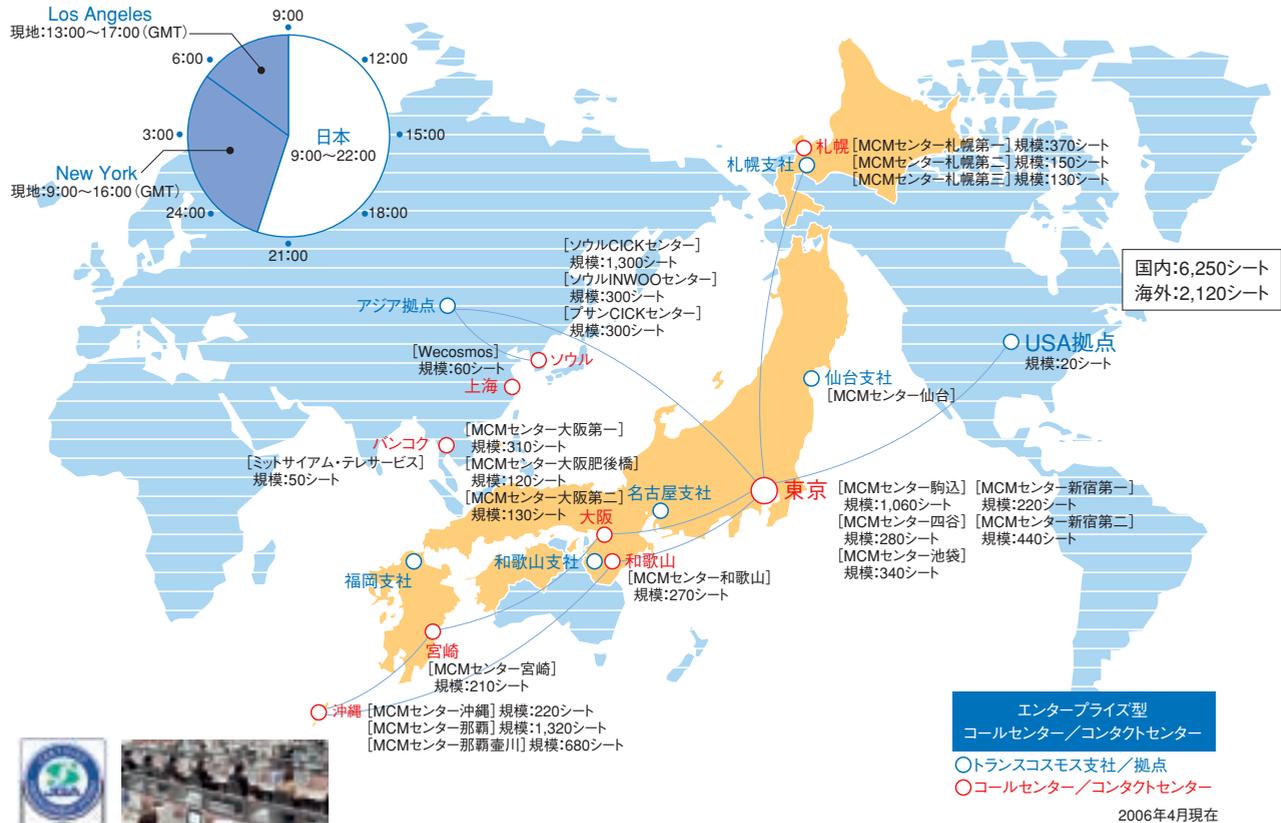
(単位：千円)

項 目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	29,065,968	23,217,772	2,768,157	△10,290,728	44,761,169	8,632,917	4,971,630	13,604,547	4,602,253	62,967,970
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△1,563,528		△1,563,528					△1,563,528
役員賞与			△3,000		△3,000					△3,000
中間純利益			6,521,229		6,521,229					6,521,229
自己株式の取得				△5,794,481	△5,794,481					△5,794,481
自己株式の処分		△81,183		160,588	79,405					79,405
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△5,508,615	△64,282	△5,572,898	1,187,269	△4,385,628
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△81,183	4,954,701	△5,633,893	△760,374	△5,508,615	△64,282	△5,572,898	1,187,269	△5,146,003
平成18年9月30日残高	29,065,968	23,136,589	7,722,859	△15,924,621	44,000,795	3,124,302	4,907,347	8,031,649	5,789,522	57,821,967

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 海外拠点を活用した24時間サポート体制

海外拠点の利用による時差を活かした24時間サポート体制を持ったコールセンター／  
コンタクトセンターを実現しています。



JQA-IM0223  
JQA-IS0056  
マーケティングチェーン  
マネジメントセンター 駒込  
コンタクトセンター サービス

エンタープライズ型  
コールセンター／コンタクトセンター

○トランスコスモス支社／拠点  
○コールセンター／コンタクトセンター

2006年4月現在

## 会社概要 (平成18年9月30日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	トランス・コスモス株式会社
英訳名	transcosmos inc.
本社所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号
設立	昭和60年6月18日 (登記上昭和53年11月30日)
資本金	29,065,968,631円
事業内容	マーケティングチェーンマネジメントサービス事業 (デジタルマーケティングサービス、コールセンター/コンタクトセンターサービス、グローバルマーケティングチェーンマネジメントサービス)、中国オフィスア開発サービス事業、事業開発投資事業
従業員数	7,766名

## 役員 (平成18年9月30日現在)

代表取締役グループCEO ファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
取締役副会長	後藤 攻
取締役副会長	谷澤 寿一
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	高嶋 正二郎
取締役副社長	石見 浩一
専務取締役	森山 雅勝
専務取締役	永倉 辰一
社外取締役	吉岡 大樹
社外取締役	高尾 吉郎
社外取締役	神山 陽子
常勤監査役	上野山 芳治
社外監査役	日色 輝幸
社外監査役	渡邊 和志
社外監査役	中村 敏明

## 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

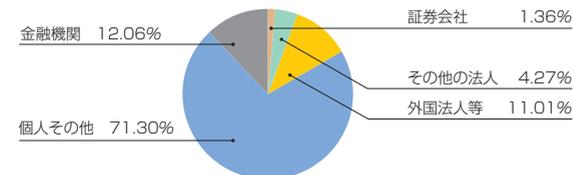
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	25,020名

## 大株主

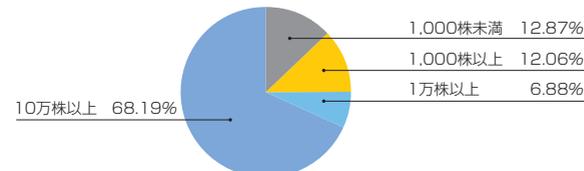
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1. 奥田 耕己	7,478	15.33
2. 奥田 昌孝	5,910	12.11
3. 平井 美穂子	2,185	4.48
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	2,063	4.23
5. 財団法人奥田育英会	1,753	3.59
6. 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,377	2.82
7. ドイツェンバンクアーゲーロンドンビービー アイリッシュレジデント 619	901	1.85
8. モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	746	1.53
9. ドイツェンバンクアーゲーロンドンビービー ノントリティークライアランス 613	522	1.07
10. メロンバンクエービーエヌ アムログローバルカストディエヌビイ	310	0.64

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は、小数点二位を四捨五入により表示しております。  
3. 自己株式 (6,200千株 12.7%) は、上記の表には記載しておりません。

## 所有者別株式分布状況



## 所有株数別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公示して定めた日。 ただし、取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に支払う。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先 及び連絡先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (其他のご照会) ☎ 0120-176-417
インターネット ホームページURL	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告URL ( <a href="http://www.trans-cosmos.co.jp">http://www.trans-cosmos.co.jp</a> )

なお、単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、上記の住友信託銀行株式会社本支店又はお取引の証券会社本支店においてお取扱いしております。

## ホームページのご案内

詳しい財務情報や最新のIRリリース、決算説明会資料などを紹介するIRライブラリーなど当社のIR情報をご覧ください。

<http://www.trans-cosmos.co.jp>

